

常総市まち・ひと・しごと 創生総合戦略会議 会議録

と き 平成27年5月25日(月)
午後3時30分から

と ころ 常総市役所 1階 市民ホール

常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 会議録

平成27年5月25日（月）午後3時30分から、常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議を常総市役所1階市民ホールに招集する。

会 議 日 程

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 経過等報告
 - (1) まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」「総合戦略」について
- 4 協議事項
 - (1) 議事録署名人の指名について
 - (2) 会長の選出について
 - (3) 副会長の選出について
 - (4) 今後のスケジュールについて
- 5 そ の 他
- 6 閉 会

出席委員 與座 清 飯田ふじ子 喜見山 明 堀越 輝子 草間 正詔 生井 邦彦 長岡 徳樹
中川 邦夫 北島 重司 細野 真哉 岡田 一夫 五木田裕一 福田 真琴 小竹 里佐
秋場 ふぢ 北村 篤子 岡崎 宏 塩畑 実 山口 大 倉持 創一

事務局 企画部長 加倉田謙二 企画課長 長妻克美 企画課長補佐 小林寛明 特定政策係長 高野慎吾
特定政策係 宮川直也

企画課長補佐 ただいまから、第1回常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議を開催する。本会議については、公開が原則となっているので、会議録を作成することを申し添える。それでは、次第に沿って進めていく。まず、高杉市長よりご挨拶をいただく。

高杉市長 この会議は、極めて大事な会議である。将来の常総市の行方を左右する戦略会議となる。国で地方創生と言っているが、全国の自治体に共通して直面している課題が人口減少である。県内の44市町村の中でも18が消滅可能性都市と言われている。この重大な課題に直面した今、我々は他の自治体にはない独自の活性化戦略を打ち出し、いかにして人口減少に歯止めをかけるか、勝負である。本格的に取り組まないと、本市も消滅可能性都市になりかねない。全国の首長が同じように強い危機感を感じている。だから、戦略会議を立ち上げ、あらゆる人から意見を聴き、独自の戦略を作るために皆様にお集まりいただいた。ぜひともよろしくお願ひしたい。

企画課長補佐 一人ひとり簡単に自己紹介をお願いしたい。

(自己紹介)

企画課長補佐 次に、経過等の報告を、企画課長より説明申し上げます。

企画課長 生井氏に関しては、先日の商工会総代会において、6月1日付での商工会長就任が決まっている。現在の商工会長は北村氏であるが、本日は生井氏にお越しいただいていることをご報告申し上げます。

それでは、資料に基づき説明する。

(資料に基づき説明)

企画課長補佐 次に、協議事項にうつる。まず、1の会長の選任について。条例第6条に議事進行は会長が行うことになっているが、ここは市長に議事をお願いし、会長を選任したい。

市長 それでは、協議事項の1、会長の選出を行う。互選であるが、どなたか意見はあるか。ないようであれば、事務局から案を示してもらおう。

企画部長 この会議は、いわゆる有識者会議である。皆様は、産・官・学・金・労・言・市民の代表であり、積極的に意見・提言をお願いしたいというのがこの会議の趣旨である。笠間市ではすでに有識者会議が立ち上がり、副市長が議長になっている。よって、会長には副市長、副会長に教育長をご提案申し上げたい。

(異議なしの声)

市長 それでは、会長に塩畑副市長、副会長に山口教育長を選任する。ここからは、会長に議事をお願いする。

会 長 皆様のご意見を賜りながら、本市独自の戦略を策定していきたいので、ご協力をよろしくお願ひしたい。
それでは、まず、会議録署名人を決めたい。会長が指名してよろしいか。

(異議なしの声)

会 長 「與座 清」委員と「飯田ふじ子」委員を指名する。
次に、今後のスケジュールについてお諮りしたい。事務局から説明願う。

事務局 (資料に基づき説明)

会 長 事務局からの説明のとおり、策定は11月頃を目途としている。戦略会議は月1回のペースでの開催を予定しており、次回は7月中旬頃を予定している。また、筑波大学との共同研究で策定していくということが本市の特色である。なにか意見等あるか。

長岡委員 この創生会議は、県内全市町村で実施するのか。本市は早い方なのか。また、県は知事が本部長になっているのか。

会 長 全ての自治体が実施する。現在までの情報だと、本市は笠間市、水戸市に次いで3番目だと思う。県は、大学の教授に依頼すると聞いている。執行部は、あくまでオブザーバーでの参加となるだろう。市町村の場合は、自ら策定する訳なので、本市では副市長と教育長が執行部を代表して参加させていただいている。

中川委員 筑波大学との共同研究はどのように進めていくのか。また、筑波大学との共同研究と、この会議との関係はどのようなものなのか？

企画部長 筑波大学とは包括連携協定を結んでおり、2年前から大学の准教授が市に入ってきて共同研究を進めている。今回も、共同研究という位置付けにはなっているが、一緒に戦略を策定していくことになっている。そして、筑波大学とプロジェクトチームで策定した原案を戦略会議にお諮りする。また、戦略会議でいただいたご意見や提言を、プロジェクトチームに戻し、再度検討するという関係である。双方向に情報のやりとりを行いながら進めていく。

喜見山委員 国とのつながりや情報のやりとりを事務局はどう考えているか。

企画課長 これまでも国のほうからのさまざまな説明会が行われてきたが、今後はコンシェルジュ制度などを活用し、国の地域担当職員の派遣を依頼し、このような会議での説明をお願いすることも考えている。

飯田委員 筑波大学のどの学部などの教授と共同研究を実施していくのか、教えてもらえないか。

企画課長 システム情報系社会工学域の大澤義明教授がトップであり、共同研究の代表が岡田幸彦准教授、協力体制として藤井さやか准教授、大久保正勝准教授、奥島真一郎准教授、上市秀雄准教授、佐野幸恵助教がこの共同研究に関わっている。全てシステム情報系である。筑波大学の国際産学連携本部が事務局となっており、その代表が副学長になっている。

飯田委員 筑波大学と共同研究する事や関わる教授の名前を人に教えることはいけないことか。守秘義務があるのか。

企画課長 皆様の立場は非常勤特別職である。したがって、守秘義務が発生する。それは、この職を退いた後も守っていただく。筑波大学との契約の中でも、一定期間の秘密保持が盛り込まれている。

副会長 大学の教授名も守秘義務にあたるのか。

企画課長 大学の教授名は守秘義務にあたらぬ。

草間委員 法律の4条に、自主的な施策を策定し、及び実施すると書いてある。これからの会議では、具体的な施策を我々に示してほしい。たたき台を作って示してもらわないと、この会議は進まない。

会 長 他の自治体は、ほとんどがコンサルタントに任せるので、同じような戦略になりがちだが、本市は筑波大学との共同研究によって、独自の戦略を策定していく。次回からは、具体的な戦略や施策を皆様にお示しし、ご意見を伺いたいと思う。

会 長 他になければ、協議を終了し、進行を事務局にお返りする。

事務局 最後に、戦略会議委員の皆様には、今後、公共施設等総合管理計画の策定にも携わっていただくことをご連絡させていただく。これについては、条例に明記されている。また、国が示している、まち・ひと・しごと創生の基本目標4の中の政策パッケージにも「既存ストックのマネジメント評価」が明記されており、その中で公共施設の利活用・インフラの維持管理・更新等の推進が盛り込まれている。公共施設の適正化と地方創生は密接な関係にあることから、ご尽力をお願いする。

他にないようであれば、以上で第1回常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議を終了する。

(午後4時40分 会議終了)

上記の議事の正確なることを証するためここに署名する。

平成27年 6 月 10日

常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議

会 長 塩 畑 実

署名人 與 座 清

署名人 飯 田 ふじ子